

恵風だより



令和2年 11月4日発行 No7

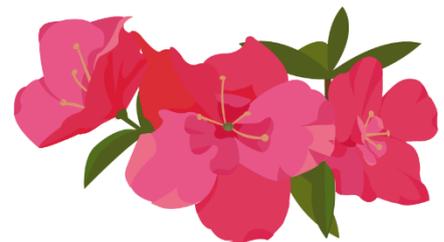
コロナ禍の修学旅行について

校長 坂井 廣幸

最近、ニュース等では新型コロナウイルス感染症の脅威をあまり報道しなくなった代わりに、政府主導の政策である『Go To トラベル』の話題が取り上げられています。この『Go To トラベル』の補助を受けるとお得だとか、地域が推進する割引券を使うとさらにお得な旅行ができるなど、旅行を積極的に促すニュースが流れています。この秋は突然旅行がブームになっているようです。今年はこのコロナ禍でこれまで旅行をしたくてもできない人々の欲求不満が一気にここで爆発したのでしょうか。さらに『Go To イート』というプレミアム付き食事券の販売も始まり、外に出ないと損するぞ！とでも言われているように感じるほどです。

多くの人は基本的に旅好きだと思います。見知らぬ土地に行くとは慣れ親しんだ風景とは異なる非日常を味わうことができ、新鮮な気持ちになるのでこれだけ多くの人が旅行に関心を持っているのだと思います。私も旅行好きな一人なので、旅行を計画している人の気持ちはよくわかります。旅行の記憶は長く残るものであり、快適な旅であればあるほど一生いい思い出として残るでしょう。そのように非日常を味わうことができる旅の中でも修学旅行は感性が若い10代の児童生徒にとって、とても刺激的なイベントです。多くの人は自分の修学旅行を長く覚えているものではないでしょうか。私は生徒引率などもあって京都には10回程行っていると思いますが、そのたびに新鮮な思いを抱きます。回数を重ねた京都でも高校の頃の修学旅行はとても記憶に残っています。だからこそ学校行事の中でも修学旅行の位置づけは大きなものになっているのだと思います。

しかし、この修学旅行の計画にも新型コロナ感染症は大きな影響を及ぼしました。本校は予定された時期に従来の修学旅行を実施できるのかというところから内容の検討に入りました。中学部は今までの修学旅行とは内容を変えて実施しております。感染対策として、公共交通機関を利用する旅行は避け、専用バスで移動する旅行としました。現在修学旅行に関しては、県内各学校では実施の延期や中止も含めていろいろ検討されています。中止と決めた高校も結構あると聞いています。今年はいろいろな競技大会が中止となりましたが、修学旅行も中止となってはコロナ感染症が原因で致し方ないとはいえ、とても残念でなりません。次年度も同じような事態にならないよう、いろいろ対策を講じる必要があります。最近ヨーロッパではまた感染者が急増していると聞いています。新型コロナ感染症に効果のあるワクチン等が早期に開発され、苦い思い出は今年だけに留まることを願ってやみません。



小学部・中学部 修学旅行に行ってきました！

新型コロナウイルス感染症予防の対策を講じて、修学旅行を予定通りの日程で実施しました。

小学部は、10月1～2日に花巻方面に行きました。花巻空港、イギリス海岸、宮沢賢治童話村、宮沢賢治イーハトーブ館などを見学して、花巻を知り、宮沢賢治の世界に触れる二日間でした。



中学部は、10月7～9日に花巻、一関、平泉、遠野方面に行きました。中尊寺、毛越寺の世界遺産、猊鼻溪、巖美溪の名勝のほか、岩手サファリパークを訪れ、キリンや象と間近に触れ合ってきました。岩手県の広さと奥深さを実感する三日間となりました。



高等部 後期現場・校内実習

2・3年生は、10月5～23日、企業や福祉事業所、福祉施設の現場での実習を中心に、1年生は校内でビルメンテナンスや校内受注作業の実習を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が心配されましたが、受け入れ先の皆様のご理解とご協力を得て、実習することができました。

3年生は卒業後の生活を具体的にイメージしながらの取組となりました。1・2年生は実習を通して気付いた自分のよさと課題をこれからの学習や生活に生かしていきます。



間借り授業に係る保護者説明会を10月21日に行いました。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。また、急なお知らせであったため、お出でいただけなかった方もいらっしゃると思います。ご不明な点につきましては、遠慮なく学校へお問い合わせください。また、来年度のPTA総会で、改めてご説明する予定です。

